

モニタリング結果報告書 (令和5年度)

1. 施設概要

施設名	神奈川県立スポーツ会館		
所在地	横浜市神奈川区三ツ沢西町3番1号		
サイトURL	https://www.sports-kanagawa.com/works/kaikan.php		
根拠条例	神奈川県立スポーツ会館条例		
設置目的(設置時期)	スポーツの振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため(昭和43年1月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県スポーツ協会		
指定期間	R2.4.1 ~ R7.3.31 (2020年) (2025年)	施設所管課 (事務所)	スポーツ課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>県民の生涯スポーツ振興の拠点施設となることを目指した運営方針に則り、開館日の拡大、多目的室の個人利用日の設定及び体育室の一般開放を行い、利便性の向上を図った。また、自主事業として幅広い層を対象としたスポーツ教室や研修セミナー等を実施し、施設の利用促進に繋げることができた。さらに、建物や設備の劣化状況を適切に把握し、小規模な修繕工事等を実施することにより、施設・設備の老朽化が著しい中でも快適な利用者サービスの提供に努めることができた。</p> <p>利用状況については前年度比117.2%の利用人数となったものの、目標値の引上げに伴い達成率が96.8%となったことから、B評価となった。収支状況については原油価格高騰の影響により光熱費が増加し、B評価となった。利用者の満足度についてはS評価となり、令和5年度の3項目評価についてはA評価となった。</p> <p>今後も、提案に基づく指定管理業務を着実に実施するとともに、幅広い利用者層に対するサービスを充実強化することで、更なる利用拡大に努めてほしい。</p>
<p><各項目の詳細説明></p> <ul style="list-style-type: none">◆管理運営等の状況 提案の内容及び、当協会の組織力を活かして適切な人員を配置するとともに、窓口ではスポーツや健康づくりに係る相談や施設予約の方法等について丁寧かつ効果的な説明を行い、利用者サービスの向上に努めた。また、職員による定期的な巡回点検を実施し、異常の早期発見及び復旧に努めたほか、故障により使用できない設備がある場合には、利用者への説明や周知を丁寧に行い、施設・設備の老朽化の影響を受けながらも円滑な施設運営を行った。加えて、施設のバリアフリー化や近隣小学校との連携に取り組み、地域社会における役割を果たすことに努めた。◆利用状況 開館日の拡大や自主事業の実施に加え、ウェブサイトやSNSを活用した広報に取り組んだ結果、前年度比117.2%の利用者数となったものの、目標値の引上げに伴い、達成率は96.8%に留まったため、B評価となった。◆利用者の満足度 9月と3月に実施し、上位2段階の回答割合が97.4%となったためS評価となった。前年度に引き続き、指定管理者の努力により高い満足度を維持することができた。◆収支状況 原油価格高騰に伴う光熱費の増加により、収支比率が96.36%となったため、B評価となった。◆苦情・要望等 該当なし◆事故・不祥事等 該当なし◆労働環境の確保に係る取組状況 労働基準監督署からの指摘事項はない。◆その他 該当なし

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。
A	B	S	B	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	隔月実施	県発注工事の監督業務等にあわせて追加で現場確認を実施し、運営改善や施設整備に係る問題意識等を共有した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	電話やメール等により、施設の管理運営や設備の劣化状況に係る情報共有等、担当者レベルでの打合せを実施した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等	施設の設置目的に鑑み、県民の生涯スポーツ振興の拠点となることを目指して、協会加盟団体等と連携し様々な取組を行うとともに、協会の組織力を活用して適切な人員配置を行い、効率的かつ安心・安全な施設運営に努めた。	提案書に従って適切に実施している。 引き続き、適切な運営に努めてもらいたい。
施設の維持管理	経年劣化している箇所がほとんどだが、職員による毎日の点検業務等により不具合の早期発見及び復旧に努めた。また、1階男子トイレ小便器センサー交換工事や3階回転窓工事等の小規模修繕を実施した。	提案書に従って適切な維持管理を行っている。 引き続き、利便性の向上に努めてもらいたい。
利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	開館日の拡大により利便性の向上を図るとともに、ウェブサイトやSNSを活用し、施設の空き状況の案内や自主事業の広報を行った。窓口では、スポーツや健康づくりに関する相談や施設予約の方法等について丁寧な説明を行った。さらに、関係団体と連携した自主事業として、子どもや高齢者、障がい者等の幅広い層を対象とした「スポーツ教室&カルチャー教室」やセミナーを実施し、施設の利用促進に努めた。	提案書に従って利用促進に取り組んでいる。 引き続き、サービスの充実に努めてもらいたい。
事故防止等安全管理	職員が定期的に館内を巡回し、異常の早期発見及び情報収集に努めた。また、館内放送により熱中症等の注意喚起を行った。このほか、災害対応マニュアルを作成し、職員全員に周知した。	提案書に従って適切に実施している。 引き続き、適切な運営に努めてもらいたい。
地域と連携した魅力ある地域づくり	横浜市三ツ沢小学校の「こども110番」設置施設となったほか、職員や利用者から募ったベルマークを近隣小学校へ寄付する交流を行った。また、多目的トイレ内への収納式おむつ交換台の設置、花壇の整備等により、地域に親しまれる施設づくりに努めた。	提案書に従って適切に実施している。 引き続き、地域との連携に努めてもらいたい。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
スポーツ&カルチャー教室の開催	未就学児や高齢者、障がい者等の幅広い層を対象としたスポーツ教室や、美文字やフェイシャルヨガ等の未病改善に向けたカルチャー教室を計559回開催し、計577名が参加した。
生涯スポーツ研修セミナーの開催	障がい者の理解促進や救命・防災に係る研修会を各1回開催し、計39名が参加した。
スポーツ指導者等への研修会の開催	スポーツ指導者に向けた研修会を開催し、計70名が参加した。
健康体力相談事業（大学連携）の実施	ロコモチェック・骨密度測定会を開催し、計30名が参加した。

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。
B	

	前々年度	前年度	令和5年度
利用者数※	11,352	27,260	31,958
対前年度比		240.1%	117.2%
目標値	30,000	30,000	33,000
目標達成率	37.8%	90.9%	96.8%

目標値の設定根拠： 過去数年間の利用者数を算定し、指定管理者と協議のうえ、決定

利用者数の算出方法（対象）： 団体は利用報告書に人数を記載
一般開放、個人利用は利用申込書で人数を確認

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

7. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	年2回、9月・3月に調査を実施。	概ね「満足」又は「どちらかといえば満足」という結果であったが、施設・設備の状態については、バスケットゴールが故障により使えないことから「どちらかといえば不満」とする声が多かった。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 施設管理に対する満足度について該当する印象に○をつけてください。

実施した調査の配布方法 窓口での配架、回収数/配布数 384 / 400 = 96.0%
 利用者に直接配布

配布(サンプル)対象 令和5年9月13日～10月20日及び令和6年2月7日～3月15日の施設利用者及び教室参加者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	169	200	8	2	379	バスケットゴールが故障により使えないため
回答率	44.6%	52.8%	2.1%	0.5%		
前年度の回答数	133	255	9	1	398	
前年度回答率	33.4%	64.1%	2.3%	0.3%		
回答率の対前年度比	133%	82%	93%	210%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

故障したバスケットゴールについては、令和6年度に県で修繕を予定している。

8. 収支状況

評価	≪評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設≫ 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	18,362	2,651			21,013	21,362	-349	
	決算	18,940	944	462	自販機 電気代	20,346	21,688	-1,342	93.81%
前年度	当初予算	18,541	2,651			21,192	21,192	0	
	決算	18,680	2,505	610	自販機 電気代	21,795	24,752	-2,957	88.05%
令和5年度	当初予算	18,436	2,651	1,601	原油価格 高騰に係る 補填	22,688	22,688	0	
	決算	18,436	2,585	2,157	原油価格 高騰に係る 補填、 自販機 電気代	23,178	24,054	-876	96.36%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和5年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。